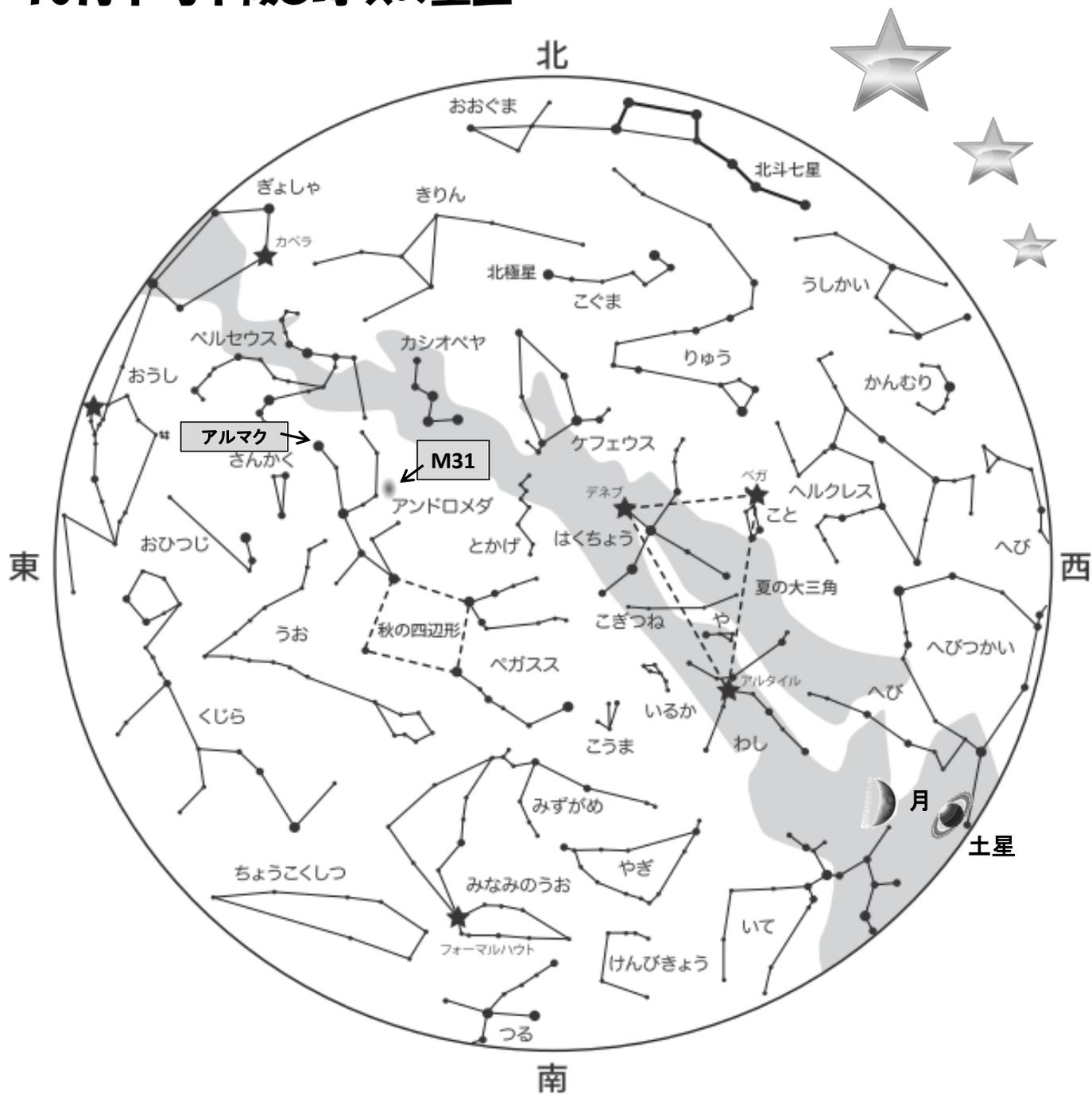


松江市立天文台～10月の天文教室～

平成29年10月25日

10月下旬午後8時頃の星空



10月下旬になり秋も深まってきました。紅葉の便りもすぐそこです。
夕暮れがめっきり早くなったので、暗くなった西の空には夏の大三角をまだ見ることができます。南の空には秋の1等星フォーマルハウトが少しさびしそうに光り、東の空には、ペガサス座とアンドロメダ座の星で作られる秋の四辺形が見えています。

10月下旬午後8時頃の星空です。
月や土星の位置は10月25日現在です。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

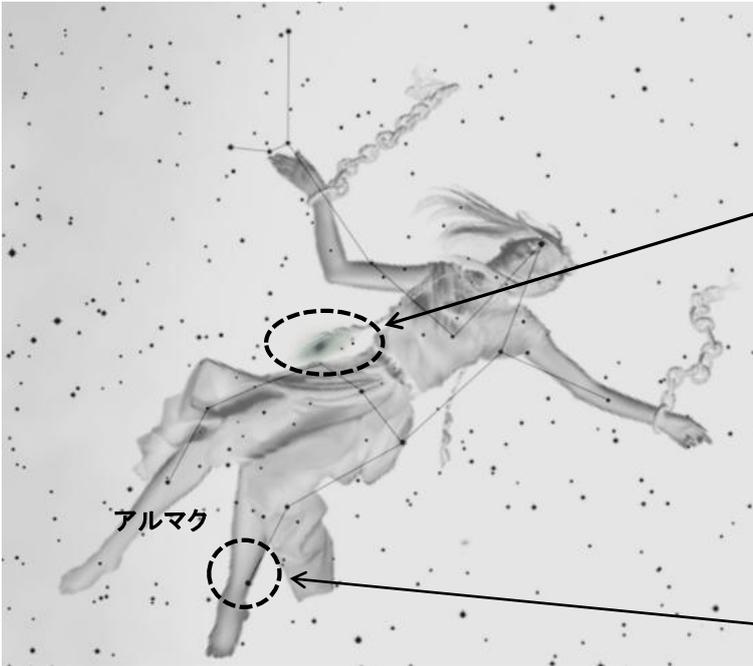
今夜の月は、月齢5

月は地球の衛星で、その直径は3千4百キロメートルあまり、27日で地球の周りを回っています。月が光るのは、太陽の光を反射しているためで、地球、太陽との位置関係でその形が変わります。

今日10月25日は、地球と月の距離が最も遠くなる日にあたります。



アンドロメダ座



アンドロメダ銀河M31

230万光年のかなたにある銀河です。郊外に行くと肉眼でも雲のように見え、双眼鏡で楕円形の形が分かります。

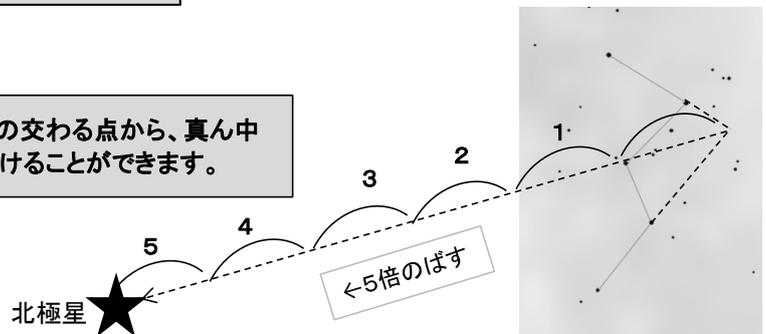
二重星アルマク

アンドロメダの左足先にあり、アルマク(くつ)という名前が付けられた星です。天体望遠鏡で拡大すると、2等星と5等星に分かれて見える美しい二重星です。

アンドロメダ座はくじら座(怪物ティアマト)のいけにえにされそうになったアンドロメダ姫の姿を表しています。この後、天馬ペガサスに乗った英雄ペルセウスがティアマトを倒し、アンドロメダを救い出すという壮大な物語が、秋の星座にちりばめられています。

北極星を見つけよう

カシオペア座の両端のほしのならびを延長して、その交わる点から、真ん中の星に向かって線を5倍延ばしていくと北極星を見つけることができます。



天文のデータは主に天文年鑑から引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 11月29日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会